

2012. 8. 18 (土)

(第3種郵便物認可)

言 畫 楽 門

# パパとママへくつろぎの一時

## ホテルに託児所

那須町高久内の「ホテルエビチール那須」に、県内のホテルでは初の一時託児サービス施設「びよびよルーム」がオープンし、利用者から好評を得ている。「親も夏休み」とばかりに、ホテル内では食事やエステ、入浴、陶芸教室などで「大人だけの時間」を楽しめるため、一時利用者でにぎわっている。



保護者らに好評な託児ルーム（ホテルエビチール那須で）

### 那須 開設2か月 200人超す利用者

「くつろぎたい」という若い夫婦からの強い要望を受けて開設した」と勝見英之（総務課マネジャー、54）。6月中旬、託児所運営で実績のある小学館集英社プロダクション（東京）の指導を受けて、ホテル1階に開設した。

広さは約60平方メートル、子ども用トイレ、遊具、絵本などのほか、室内でのけが防止用クッションなども完備し、専任の保育士が5人常駐する。定員は12人で、満1歳～6歳（未就学）が利用でき、営業は正午から午後9時まで（予約制）。料金は30分単位で500円。利用する際、健康状態をチェックし、体温が37.5度以上ある場合は預からない。保育士歴約20年という小林弘美さん（49）によると、2か月間で200人を超す利用者があり、夕食の時間を帯り、利用時間では30分間が多いという。利用理由で

は①食事後、夫婦でゆっくり過ごしたい②エステ、温泉や陶芸教室を利用するため③兄、姉がプールを利用するため④買い物に出かけるため⑤孫と宿泊に来た祖父母から、「遊びに付き合ってくれたので、食事後のひとときだけで」という依頼もあるという。勝見マネジャーは「宿泊に限りならず、レストラン等のご利用の際にも利用できませう」と、地元の人向けにもPRする。県内初の施設とあって、県子ども政策課担当者も現場を視察。「不特定の乳幼児を預かる認可外保育施設」との位置付けだが、「設備、スタッフ、受け入れ態勢とも問題はない」と話している。



子スズメ（左）のしつけ中？（7月30日）



親鳥の前で飛び立つ練習に励む子スズメ（8月1日）

### 親子スズメ 表情豊か

小山

小山市に住む野鳥愛好家の佐野喜義さん（78）が自宅の庭先にたびたび訪れるスズメの親子の写真を撮影した。初夏に生まれたとみられる子スズメが親鳥に餌をねだる場面や、2羽がそろって野良猫に驚く様子を写し、豊かな表情が伝わってきたという。

てくる作品だ。

佐野さん方では、自宅の軒先につるした鳥かごにフンチョウを飼っており、その餌のおこぼれをスズメがついばみに来るようになった。佐野さん方の庭先に現れる親子スズメは、今回の被写体がおよそ5代目。7月頃から姿を見せるようになったという。



口を開けてねだる子スズメに餌を与えようとする親鳥（8月15日）



庭先に現れた野良猫に驚く親子（7月30日）

## 卓球「銀」平野選手、鹿沼へ凱旋

### 笑顔でパレード 5000人祝福

ロンドン五輪の卓球女子団体戦に出場し、銀メダルの市民らが詰めかけ、「お獲得に貢献した平野早矢香めどう」と声を掛け、選手（7）が17日、鹿沼市街をパレードした。約5000人が道沿いに集まって、お祝いの声援を送った。平野選手は笑顔でパレードに参加し、市民らから大きな声援を受けた。

野鳥観察の講師も務める佐野さんは、「喜怒哀楽までわかる場面を撮影するのは、ふだんから物陰に隠れて眺めたり、姿勢を低くするなどして、害がないことをわかってもらうことが大切」とアドバイスしている。